

氏名	田口 賢太郎	部署	社会福祉子ども学科	職名	助教
研究分野	教育哲学、子ども学、保育学				
学位	修士（教育学）				
学歴	2004年早稲田大学教育学部教育学科、2008年東京大学大学院教育学研究科修士課程、2010年東京大学大学院教育学研究科博士課程				
経歴	2013年香川短期大学子ども学科第Ⅰ部助教、2015年山梨学院短期大学保育科専任講師、2020年埼玉県立大学社会福祉子ども学科助教				
所属学会（役職）	日本教育学会、教育哲学会、臨床教育人間学会、教育思想史学会、日仏教育学会、日本保育学会、保育者養成教育学会				

【2022年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	子どもと保育－保育内容（健康、人間関係、環境、言葉、表現）の理解を目指して、2章 保育内容の理解、3章 幼稚園・保育所の制度の変遷からみる保育内容、6章 保育のカリキュラム	共著	あり	大学図書出版、175 (担当箇所14-22、24-35、58-67)	五十嵐淳子、柳生崇志、田口賢太郎、木戸直美編著	2022.9
2	心とからだの健康、第26巻8号、幼小連携における養護教諭の役割について	単著	あり	健学社、78 (執筆箇所42-44)	田口賢太郎	2022.8
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	保育環境のマテリアルの評価に関する基礎的研究	単独	日本保育者養成教育学会第7回研究大会(WEB 開催)		○田口賢太郎	2023.3.5
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	〈図書紹介〉岡部美香、小野文生編著『教育学のバトス論的転回』	単著	教育学研究、第89巻、第2号、129-130.		田口賢太郎	2022.6
2	〈図書紹介〉平田文子著『デュルケーム世俗道徳論の中のユダヤ教—ユダヤの伝統とライシテの狭間で』	単著	教育哲学研究、第126号、93-95.		田口賢太郎	2022.11
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	該当なし					
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	保育者論	○	15	保育職を志す学生に対しての導入となるべく、保育職の意義、役割、資質能力等の基礎について、オンラインでの講義を主として、グループワークや反転学習等を取り入れた授業を行った。		
2	保育原理	○	15	保育の本質、目的、意義の基礎的な理解につながるオンラインでの講義を主として、小グループでの話し合いワークや反転学習等を取り入れた授業を行った。		
3	教育学	○	15	教育諸学の成果に関して国内外の思想・哲学的なトピックを中心に引き上げ、小グループでの話し合いワークを中心に授業を行った。		
4	保育・教育課程論	○	15	教育・保育課程の意義や編成の方法、カリキュラム・マネジメント等に関して、講義を主として、グループでの話し合い学習や課題演習を踏まえた反転学習を取り入れて授業を行った。		
5	教育行政	○	15	各種教育法規とこれに基づく教育制度、国や地方公共団体の教育行政について理解を深めるため、学生の具体的な体験を取り上げ共有しつつ、講義を主として授業を行った。		

6	教育原理	○	15	教育の目的と本質、行政・制度、内容と方法、具体的な実践とその評価等、教育に関する各種トピックについて、オンラインでの講義を主として、グループワークを取り入れた授業を行った。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	保育・教職実践演習		1（全15コマ中）	第11回「子どもの理解と集団作り」担当。
2	保育実習事前事後指導ⅠA	○	9（全15コマ中）	事前事後指導、報告会と報告書の作成指導等を行った。
3	保育実習事前事後指導ⅠB		1	訪問担当の事前指導を行った。
4	保育実習事前事後指導Ⅱ		3	訪問担当の事前事後指導を行った。
5	保育実習事前事後指導Ⅲ		3	訪問担当の事前事後指導を行った。
6	教育実習（幼）Ⅰ		1（全15コマ中）	実習終了後の全体振り返りを担当。また、訪問担当の事前事後指導を行った。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	教育実習（幼）Ⅱ		2022.5.30～6.15	担当学生を対象に訪問指導を行った。
2	保育実習ⅠA	○	2022.9.1～9.15	実習全般の統括、実習先との調整、担当学生への訪問指導を行った。
3	保育実習Ⅱ		2022.8.29～9.9	担当学生を対象に訪問指導を行った。
4	保育実習Ⅲ		2022.9.5～9.16	担当学生を対象に訪問指導を行った。
5	教育実習（幼）Ⅰ		2022.9.5～9.9	担当学生を対象に訪問指導を行った。
6	IPW実習		2022.8.8,10.4～10.7	グループ担当教員として学生の活動のファシリテート等を行った。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2022.4～2022.12	主指導 3名	副指導 0名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	該当なし			
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期	
1	日仏教育学会	学会事務局幹事	2020.4～現在に至る	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	学生支援委員会 委員		2022.4～2023.3
2	大学広報活動	広報誌企画		2022.4～2023.3
3	大学広報活動	後援会・ホームカミングデー		2022.4～2023.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				
	該当なし			